



百彩まつもと・福祉も百彩

平成19年 No.174
3月15日号

子どもから高齢者まで誰もが安心して
希望に満ちて暮らせる松本。市制は百周年
の大きな節目の今年、福祉は百の彩りのま
ちづくりを目指して自助・共助・公助の歯
車を“快転”させましょう。みなさまと一
緒に社協もがんばります。

- ・松本のこれからの福祉に期待…… 2 P
すること
- ・地区社協の活動紹介…………… 3 P
- ・活発な松本市ボランティアセンター… 3 P
- ・あいちゃん…………… 3 P
- ・ふくしかわらばん…………… 4 P

発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000
編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239
E-mail: syakyoum@avis.ne.jp http://www.syakyo-matsumoto.or.jp

※ホームページ リニューアルしました

ふれあいネットワーク
 **社協** **まつもと**

私にもできる安全・安心な地域づくり

松本のこれからの福祉に期待すること

松本市は誕生から百年の節目を迎えました。

この間、明治、大正、昭和、平成と年代を重ね、また、戦争、大恐慌、いざなぎ景気、バブル崩壊後の低成長など、時代の変遷をたどってきました。

社会福祉の諸制度もかなり充実してきていますが、まだ、地域社会の中にはさまざまな課題があります。そこで、これからの福祉に何を期待するか関係者にお聞きしました。



「イエス」「ノー」で通じる福祉
障害をもっている女性がカナダに旅をし、車椅子で移動していた時、一人の青年が明るく「イエス?」「ノー?」と声をかけてきました。

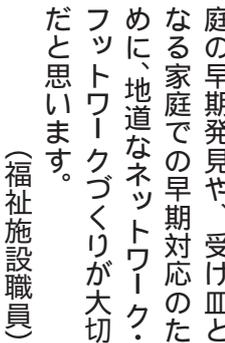
車椅子の介助を申し出た様子がそぶりでわかりました。が、とっさに彼女は「ノー」のサインをしてしまい、後で後悔したという旅の想いを聞かせてくれました。

「私も勇気を出してこの青年のように行動しよう」。その情景は、私に深い感動と、行動する勇気を与えてくれました。

また、自分が介助を必要とする当事者となった場合、好意を素直に受け入れる勇気も必要だと思います。

「イエス」「ノー」でも通じる、福祉の明るい面もとらえてほしいと思います。

(梓川・ボランティア)



今、児童を取り巻く環境には厳しいものがあり、いじめ、虐待などで尊い命が奪われる事件が後をたちません。

さまざまな理由で施設に入所している児童も、明るく、元気に振る舞っていますが、心には深い傷を負っています。

その傷を癒し、一日も早く家族との生活が実現できるように、児童と生活を共にしながら苦闘しています。

子どもを見守る地域や機関は、支援を必要とする家庭の早期発見や、受け皿となる家庭での早期対応のために、地道なネットワーク、フットワークづくりが大切だと思います。

(福祉施設職員)



ネットワークとフットワークを



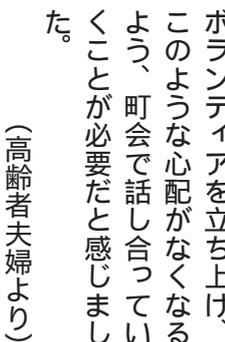
普段の付き合いや交流の中から、視覚障害の方々の悩みや不安、期待を伺いました。

社協のヘルパーさんは、安心して頼めるのでありがたい。ヘルパーさんは私たちの命をつなげるための大事な存在で、多くの支援をいただいている。今のまま、質が落ちないようにお願いしたい。社協が元気なら私たちは安心、ずっと頼りにしています」との声が大きかったです。

要望としては、「歩道を白杖でも安心して歩けるようにしてほしい。雪や車や電柱があつて危なくて困る」との声もありました。

「自分たちは、いつまで在宅で暮らせるのだろうか、という不安は常につきまとっている」とのつぶやきも気がかりです。

(視覚障害の方より)



安曇地区は、高齢化率は市内平均よりかなり高いが、要介護認定率は最低のこと。みなさんがお元気で暮らしている様子が何われ嬉しく思います。

高齢者の方に、これからの福祉についてお聞きしたところ、すぐに出た言葉が、除雪の心配でした。最近見るテレビは天気予報ばかり。八十年代半ばのご夫婦は常に雪かきの心配が頭から離れないとのことでした。

また、災害が発生した時に、避難場所は町会では決まっていますが、その場所へ行けるかが心配だ」と話していました。

これからは、行政の協力を得ながら、災害に対するボランティアを立ち上げ、このような心配がなくなるよう、町会で話し合っていくことが必要だと感じました。

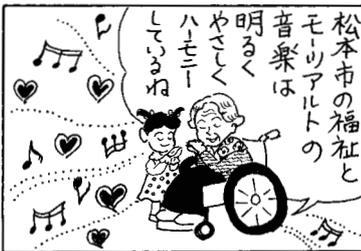
(高齢者夫婦より)

高齢者の心配ごと



地区社協の活動紹介

あいちゃん
作.上原ゆり子



打ちたてのそばをお届けしました。
このそば配食事業は、今井地区の恒例になっており、年々、希望される方が増えています。

今井地区

ふれあい手打ちそば配食事業

地区のボランティア、社協役員、民生児童委員が協力し、七十歳以上の一人暮らし、夫婦共に七十五歳以上の高齢者世帯を対象に、



高齢者との交流会 ～里山辺地区～



「みなさんの大変な気遣いが本当にありがたく、これからも続けていってほしい」という声も聞かれ、大変有意義なものとなりました。今後は一層、気配り・目配りをして、より良い知恵を出し合いたいと思います。

あるサロンの会場で、一人暮らしの高齢者ではなく、同居人がいても参加する行事はないか」という声をお聞きしました。その要望を受ける形で、今まであまり陽の当たることがなかった方々をお招きし、交流会を開催しました。

活発な松本市ボランティアセンター



↑点字講習
2月15日(信明中学校)
車椅子体験↓



松本市ボランティアセンターでは、活動の輪を広げています。さまざまなニーズに対応するため、各種ボランティア講座を開催したり、また、体験活動から福祉の心を育ててもらおうと、小・中・高校での出前体験講座も行っています。



2月3日
交流集会(総合社会福祉センター)



1月20日
読み聞かせ講座(保健センター)
1月31日
傾聴講座(大手公民館)



ふくし・かわらばん

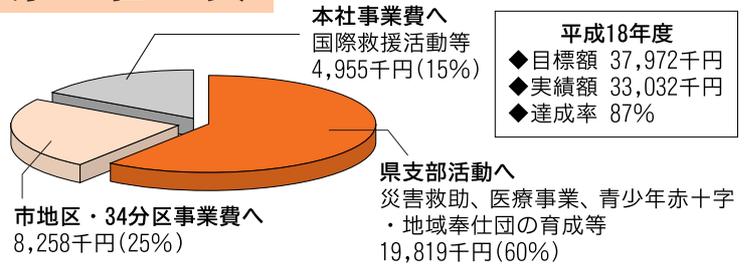
ご協力ありがとうございました

日赤社資

日赤松本市地区では、みなさまからいただいた社資を財源に、地域でさまざまな事業を展開しています。

救急救命法、幼児安全法、家庭介護法の講習
健康や安全を守るための勉強会や交流会の開催
災害に備えた訓練など

※地区・町会で炊き出し訓練を実施します。



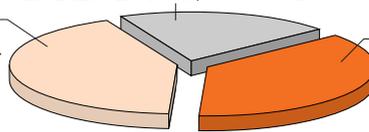
平成18年度
◆目標額 37,972千円
◆実績額 33,032千円
◆達成率 87%

赤い羽根共同募金

共同募金運動は、市民のみなさまのご理解とご支援をいただき、大きな成果を上げることができました。お寄せいただいた募金は、地域福祉推進のために大切に使わせていただきます。

34地区社協事業
敬老会、ふれあい会食会、子育て講座、見守り安心ネットワーク事業等
17,009千円(40.5%)

市社協福祉事業
町会福祉事業、児童遊園地整備事業、「社協まつもと」の発行、市社会福祉大会等
9,110千円(21.7%)



平成18年度
◆目標額 33,810千円
◆実績額 42,024千円
◆達成率 124.3%

社会福祉協議会への寄付

(平成18年3月1日から平成19年2月28日)

大勢のみなさまからご寄付をいただきありがとうございました。社会福祉事業のために活用させていただきます。

寄付金 39件 3,176,621円
市社協賛助会員 98件 745,000円
市社協特別会員 76件 109,000円
物品の寄付 55件 (車椅子・座位入浴機器等)
ご芳名は次号に掲載します。匿名をご希望の方はお申し出ください。 ☎27-3381

総合社会福祉センター会議室ご利用の案内

松本市総合社会福祉センター4階の会議室は、一般の方も利用できます。(有料)

◎会議室の案内

- 種類 会議室(大・中・小)
- 収容人員 大会議室 240人〔1室〕
中会議室 72人〔1室〕
小会議室 14人〔2室〕
- 使用料 700円～29,200円(冷暖房料金等は別途必要となります)
- 予約 使用日の2カ月前から
- 使用時間区分 午前・午後・夜間
- 使用目的 会議打ち合わせ等
- その他 利用等の禁止事項がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

◎詳細・問い合わせ先

松本市総合社会福祉センター
☎25-3133(双葉4-16)

平成19年度 安心して活動するために… ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中に、ボランティア自身の負傷や、他者を負傷させてしまった、あるいは物を壊してしまった等の事故を補償します。

◆掛金(年間) Aプラン 280円 Bプラン 460円 Cプラン 650円

(掛金により補償金額が異なります)
(補償期間の途中で加入する場合も同額です)

◆補償期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日
◆申し込み 松本市社会福祉協議会(双葉4-16) ボランティアセンター(☎25-7311・FAX27-2239)
※松本市社会福祉協議会への登録が必要です。
詳細については上記へお問い合わせください。

NEW 松本市 社協ホームページ

松本市社協のホームページがリニューアルされました。福祉に関する情報が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

新しいアドレスはこちら <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>